



日光市野球界のレジェンドたち

社会人野球チーム「大沢OB」

昭和56年に壮年野球大会(40歳以上)が会場である大沢OBの旧今市市予選会に出場するために野球好きのメンバーを集めたことがきっかけです。その後、昭和58年に市の予選会が無くなったため、旧今市市の社会人野球リーグに登録し、現在に至ります。

現在の活動は？
毎週日曜日に練習しています。12月の3週から2月の1週を除いて必ず行っています。毎年行われている県熟年野球大会(50歳以上)に出場できる大会には、第4回大会から出場し、現在はチームから

8名が市の代表として、選出されています。この熟年大会が始まると、部員が9名集まらないので、通常の大会に出られなくなってしまう。それほど、うちのチームの軸は60代や70代のメンバーなんです。

最近の成績は？
今市大会ではC級(市内に3つあるリーグの一つ)に在籍しており、6月に行われた第7回日光市体育協会杯では準優勝でした。決勝戦は78歳が先発し、79歳が中継ぎをした試合で、両投手好投しました。昨年は優勝していた大会だったので悔しかったです。

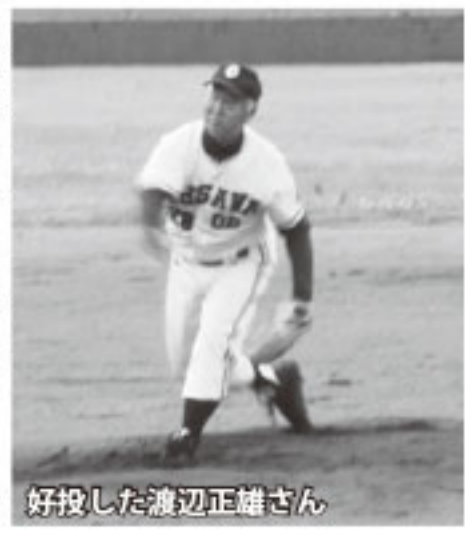
また、県熟年大会では、最近勝っていないんです。理由は熟年大会でも70代はほとんどいないからです。ほとんどが50代の若い人たち、しかも県大会ということもあって選りすぐりの選手たちになかなか勝つことができません。うちも50歳くらいの若手にぜひ入ってもらいたいですね。

元気の秘訣を教えてください
野球をすること、それが元気

今月は、市内社会人野球で活躍する大沢OBの皆さんを紹介いたします。チームの最年長はなんと79歳。その他のメンバーも60代や70代とご年配の方々。一方、今年加入したメンバーは19歳と、その差は60歳。35年の歴史と伝統を受け継ぎ、長年現役で元気にプレーする秘訣を大沢OB3代目監督の齊藤貞行さんに伺いました。

もちろん100歳になっても現役で野球をすることです！生涯現役で頑張りたいです。

インタビュを終えて…
取材当日も猛暑の中、試合でした。しかし、この日登板した62歳の渡辺正雄さんは6回を2失点で完投し、勝利しました。60代や70代のメンバーがキビキと走り、打つ。守る。20代の私は、頭の下がる思いでした。



好投した渡辺正雄さん

まちのほっとNEWS

特急電車シールの贈呈

JR東日本大宮支社は、市内在住の子どもたちに、JR・東武直通特急列車に親しんでもらうために、電車シールを作成しました。

これは、将来の日光を背負う子どもたちに、市の観光と交通について興味を持ってもらう目的で、同特急列車をデザインしたシールを市内の各小学校に配布したものです。

教育長室でのシール贈呈
文・写真：学校教育課

市優良建設業者表彰式

平成27年度に市が発注した建設工事を優秀な成績で完成させた建設業者9社を表彰しました。これは建設業者の技術の向上と工事の適切な施工を推進するため、毎年実施しているものです。

また、表彰式後は、日光労働基準監督署長による「建設工事における労働災害撲滅」についての安全管理研修会を行いました。

表彰を受けた皆さん
文・写真：契約検査課

国学院大学と協定締結

市は、東京都渋谷区にある国学院大学と「相互連携及び協力に関する協定」を締結しました。この協定をもとに、市と大学が相互に連携・協力し、さまざまな事業へと発展させていきます。

首都圏に位置する大学ならではの立地的特性などを活かしていき、今後は新たな視点からの政策展開につなげていきます。

握手を交わす高藤市長と赤井学長
文・写真：総合政策課

杉の沢グラウンドゴルフ大会

杉の沢グラウンドで杉の沢自治会が主催する「グラウンドゴルフ大会」が開催され、約40名の老若男女が集まりました。大人はスコアを競い、杉の沢子ども育成会の子どもたちと保護者はプレイを通してルールやコツを教わりました。

世代を超えた地域交流に、子どもたちは「楽しかった」と笑顔を見せていました。

世代を超えて楽しむ参加者
文・写真：市民リポーター大野ひとみ

日光和楽おどり隊女川訪問

日光和楽おどり隊は、震災以来5回目となる女川訪問をし、復興イベントに参加しました。

女川駅前会場で日光のパフレットを配り、現地の皆さんと交流する「日光に行ってきたよ」この秋、日光に行くよとの声を聞きました。

私たちの訪問継続が被災地に届き始めたこと、とうれしかったです。

日光和楽おどり隊のメンバー
文・写真：日光和楽おどり隊

大室さくら苑納涼まつり

平成町文化交流会のメンバー13名は、大室さくら苑で煎沢お雛子保存会の音頭に合わせて日光和楽踊りを披露しました。

踊りには施設利用者や入居者、地域の方々など約50名が参加し、地域の交流を深めました。

参加者たちは一足早い夏の納涼祭をにぎやかに楽しんで過ごしました。

和楽踊りをする参加者
文・写真：平成町文化交流会

身近なニュースを募集しています

まちのほっとニュースでは、皆さんから記事の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちょっとした珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によって掲載できない場合があります。

応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。

○記事…1400字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真…紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでも可能です。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものは不可とします。

あて先 〒321-1292 今市本町1番地
日光市役所 総合政策課 秘書広報課 広報広聴係
メール hshokunou@city.nikko.lg.jp